

令和6年度地域生活支援拠点等事業の評価及び今後の取組について

各機能	令和6年度 現状・評価	今後の取組
相談	・市内相談支援事業所の拠点登録が全体のうち8割以上となったことや、相談及び緊急受け入れでの拠点登録事業所の合同ミーティングを開催し、連携強化に取り組めたことで、一定の評価を得られた。	・相談及び緊急受け入れでの拠点登録事業所の合同ミーティングを開催し、緊急対応時の支援の流れを共有し、緊急受け入れに関する理解促進を図る。あわせて、合同ミーティング未参加の事業所への理解促進を行う。
緊急時の受け入れ対応	・相談及び緊急受け入れでの拠点登録事業所の合同ミーティングを開催し、連携強化に取り組めたことで、一定の評価を得られた。一方、緊急対応時の情報共有などについては、実務的な対応の整理が必要との意見があった。	
体験の機会・場の提供	・令和5年度まで、体験の機会等に関する取組自体が未実施であったが、令和6年度は体験に関する検討会を行ったことで、一定程度できているという評価が多かった。	・体験に関する障害福祉サービスの利用を整理すると共に、体験の拠点登録事業所を対象にしたミーティングを開催し、体験利用に関する課題等を協議する。
専門的人材の確保・養成	・強度行動障害支援者研修会などを開催し、専門性のある人材確保に取り組めたことで、十分できているという評価が多かった。一方で、拠点事業で取り組むことについて整理が必要という意見もあった。	・今年度も引き続き強度行動障害支援者研修を行うことで専門的人材の育成を図る。なお、基幹相談支援センターにおいても人材育成に関する取組を行っていることから、当該研修を合同で開催する。
その他・地域移行等	・要支援者の把握は一定程度できているとの評価を得られた。 ・地域移行については、病院相談員との連携会議にて移行に関する協議を行い、一定の評価を得られたが、障害者支援施設入所者に関する取組自体が未実施であるため、今後は、施設入所者に対しても取り組む必要があるとの意見もあった。	・潜在的な要支援者の把握は委託相談支援事業において取り組む。なお、相談支援事業所に対して要支援者台帳の整理を促す。 ・病院相談員との連携会議は継続的に実施すると共に、障害者支援施設利用者に関して地域移行・定着部会と連携しつつ地域移行に関する取組を進める。